

事務事業名	公共交通ネットワーク整備事業				担当	総務部 総合政策課 企画調整係		
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			増補版施策名	111-4 広域連携による移動手段・公共交通ネットワークの確保		
施策名	5	公共交通ネットワークの整備			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 真岡市地域福祉計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成21年度～）		
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1総務管理費	6企画費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	平成22年に策定した「真岡市地域公共交通総合連携計画」に基づき、公共交通ネットワークの整備を推進する。真岡市地域公共交通活性化協議会は市長が会長となり、委員は法律に基づいた者（交通事業者、道路管理者等）のほか、公募委員などの25名で構成され、計画に基づいた実証運行の評価・改善を図る。平成23年度からデマンドタクシー、24年度からコミュニティバスの実証運行を開始し、事後評価を行い、26年度からの本格運行を開始した。平成28年2月には、市域を越える広域的な移動需要への対応を踏まえ、持続可能な公共交通ネットワークの再構築を図るため、連携計画を見直し、「真岡市地域公共交通網形成計画」を策定した。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
30年度実績 デマンドタクシーとコミュニティバスの運行の実施 地域公共交通活性化協議会の開催 地域公共交通網形成計画に基づく新規事業の実施 ・高齢者運転免許証自主返納事業との連携 無料バス交付者189名（いちごタクシー：1,774回利用、コトベリー号：807回利用） ・いちごタクシー回数券導入 回数券利用状況：8,394回利用		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
31年度計画 デマンドタクシーとコミュニティバスの運行実施 地域公共交通活性化協議会の開催 地域公共交通網形成計画に基づく事業の実施 (学校モビリティ・マネジメントの実施等)		ア 協議会開催数	回	3	2	3	4	3
		イ いちごタクシー運行日数	日	243	243	244	244	238
		ウ いちごタクシーの拠点数	箇所	133	133	133	134	134
		エ コトベリー号（いちごバス）運行日数	日	359	359	359	359	359
		オ コトベリー号停留所数	箇所	48	48	48	48	48
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 真岡市民		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 真岡市民	人	80,590	79,462	79,542	79,414	79,324
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 真岡市地域公共交通網形成計画に基づく事業を適正に実施していくことで、本市の地域公共交通の維持・活性化を図り市民の満足度を高める。		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア いちごタクシー登録者数	人	8,329	8,809	9,156	9,499	9,800
		イ いちごタクシー利用人数（延べ）	人	17,968	17,777	17,981	16,420	17,000
		ウ コトベリー号利用人数（延べ）	人	19,664	20,938	22,395	20,577	36,000
		エ いちごバス利用人数（延べ）	人	0	0	0	2,718	36,000
		オ						
④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 公共交通不便地域の解消や中心市街地での周遊性の確保などのため、公共交通システムを整備し、急速に進行する高齢社会への対応を目指す。		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 公共交通機関の利用に関する利用者満足度	%	32.7	33.2	32.9		
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	43,011	43,888	47,176	47,604	69,722
	事業費計(A)	千円	43,011	43,888	47,176	47,604	69,722	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	150	150	200	200	200
		人件費計(B)	千円	629	623	830	834	834
トータルコスト(A)+(B)		千円	43,640	44,511	48,006	48,438	70,556	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	主に交通弱者の移動手段の確保と交通不便地域の解消を図るため、新たな公共交通の導入を望む市民の機運が高まったことから、平成21年度に真岡市地域公共交通活性化協議会を設置し、「真岡市地域公共交通総合連携計画」を策定した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	総合連携計画に基づき、いちごタクシーとコトベリー号を運行したことで、交通弱者の移動手段の確保と交通不便地域を解消することができた。平成26年1月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が改正され、地域公共交通網形成計画を策定することができるようになり、より面的に公共交通ネットワークを構築する制度が追加された。平成27年度に「連携計画」を見直し、「真岡市地域公共交通網形成計画」を策定した。平成28年度にコトベリー号運行について、運行周辺地域から運行ルート延長の要望が提出され、運行ルートの見直しに着手した。平成31年春に開院予定の芳賀赤十字病院の移転新築を踏まえ、いちごタクシーとコトベリー号の運行内容の抜本的な見直しの協議を、地域公共交通活性化協議会において、平成29年度から開始した。平成31年3月4日より、コトベリー号からいちごバスに名称変更し、新たなルートと26人乗りバスでの運行を開始した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	市民意向調査（H30.4）において、今後、市に力をいれてほしい施策として、「公共交通ネットワークの整備」を選んだ人は、23.4%であり、38施策中4番目であった。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共交通ネットワークの整備に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共交通機関は市民生活やまちづくりに不可欠な基盤であり、市が行う業務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 公共交通の主な利用者は市民であり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 利用者の増加・利便性の向上に向けて、利用者や市民の意見等を反映しながら、成果を向上させていく。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 公共交通ネットワークの整備が図られない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 運行を行うための最少の経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最低限の人員で事業を推進しており、人件費の削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 適切に料金設定をしている。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							